



パワーアップ事業 秋の部

「秋風と風鈴と灯りのひと刻」とき

パワーアップ事業秋の部の取り組みとして「秋風と風鈴と灯りのひと刻」と名付けて、十九日(日)取り組んだイベントが、午後六時～八時の間と言うごく短時間ではありましたが、成功裏に無事終わりました。



古市焼の作品も展示

古市と波賀野新田の家々に、灯りがともされたり風鈴の音が響いたり、普段の夜は人通りもまばらな街道筋が、ひと時の賑わいを取り戻しました。

古市では、地藏盆のときよりも多くのお宅で、より工夫した灯りが点され、また、古市焼として作陶した作品も展示台に飾られていました。さらに街角ギヤラリーもあちこちで開かれていました。

そして、この取り組みで何よりも嬉しい事は、灯りや展示を見て回る皆さん方が、感想をはじめいろいろと語り合う機会として役立つように感じた事です。古市では都市部のように「隣は何をする人ぞ・・・」と言った状況にはありませんが、それでも一昔前と比べると、隣近所で集まって雑談したり、助け合うたりするような機会が減っていることは否めない事実です。今回のような機会を生かして、その様なコミュニケーションの場が少しでもできれば、この事業の主旨である「地域の活性化」に少しでも近づけるのではないかと思います。

また、今後の具体的な取り組みについては、実行委員会等の場で協議して決定されることと思いますが、さしあたり、次のイベントは十二月十四日の「義士祭」になります。皆さんのお力で、伝統の行事が、大いに盛り上がりますようご協力の程よろしくお願い致します。



カボチャの灯り
(ハローウィン)



工夫された和紙の灯り
四隅の柱に法目を



宗玄寺の境内



丹波の秋色

秋風と風鈴と灯りのひと刻寸描



フェンスを借りて



まさに芸術の秋



宗玄寺の銀杏の木



古市番をメインに選んで



常夜灯をライトアップしてみると



秋の盛りも添えて